

(第6条関係)

事業計画

事業名	地域連携自主防災事業
団体名	栗ヶ沢中学校地域防災委員会
事業担当課	危機管理課

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>松戸市防災計画には以下の課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none">- 収容避難所の運営は自主防災組織により行なわれるべきとなっているが、収容避難所は複数の自主防災組織(町会・自治会)が利用する。よって地域の連携が必須であるが、地域の視点が欠けている。- 大規模災害の場合、自主防災組織で行える救護活動は限られるが、地域が連携して要配慮者等を救護支援する仕組みがない。- 自助・近助等住民に関する記述が非常に少なく、周知も徹底していないため、住民の自主防災に関する認識が不足している。- 市内自主防災組織間の交流が少ない。																											
事業の目的	<ul style="list-style-type: none">- 地域の自主防災組織(町会・自治会)が連携し、自主的な避難所運営を可能にする事。- 地域が連携して救護活動を行えるようにする事。- 防災に関する自助・近助の重要性の告知により住民意識を高める事。- 市内自主防災組織の交流を密にする事。																											
事業内容	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none">- 自主防災に関する告知活動と講演会開催- 町会避難行動を含む避難所開設運営訓練や図上訓練の実施- 地域による要配慮者支援救護計画の策定- 地域に根ざした自主防災に関する小冊子の作成と配布(著作権は栗防)- 松戸市内の自主防災組織との交流 <p>2 スケジュール</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>具体的な取り組み</th><th>実施体制、対象、場所など</th></tr></thead><tbody><tr><td>4月</td><td>栗防通信発行一回目</td><td>配布対象は栗中地域全世帯</td></tr><tr><td>5月</td><td>要配慮者支援会議第一回</td><td>松戸市関係課および地域福祉団体</td></tr><tr><td>8月</td><td>松戸市内自主防災組織との交流会</td><td>対象は未定</td></tr><tr><td>9月</td><td>栗防通信発行二回目</td><td>配布対象は栗中地域全世帯</td></tr><tr><td>10月</td><td>要配慮者支援会議第二回</td><td>松戸市関係課および地域福祉団体</td></tr><tr><td>11月</td><td>避難所開設運営訓練</td><td>地域住民を対象に栗ヶ沢中学校で開催</td></tr><tr><td>12月</td><td>避難所図上訓練</td><td>栗防委員を対象に貝の花小学校と栗ヶ沢小学校を仮定し実施</td></tr><tr><td>12月</td><td>自主防災に関する講演会</td><td>地域住民対象</td></tr></tbody></table>		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月	栗防通信発行一回目	配布対象は栗中地域全世帯	5月	要配慮者支援会議第一回	松戸市関係課および地域福祉団体	8月	松戸市内自主防災組織との交流会	対象は未定	9月	栗防通信発行二回目	配布対象は栗中地域全世帯	10月	要配慮者支援会議第二回	松戸市関係課および地域福祉団体	11月	避難所開設運営訓練	地域住民を対象に栗ヶ沢中学校で開催	12月	避難所図上訓練	栗防委員を対象に貝の花小学校と栗ヶ沢小学校を仮定し実施	12月	自主防災に関する講演会	地域住民対象
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																										
4月	栗防通信発行一回目	配布対象は栗中地域全世帯																										
5月	要配慮者支援会議第一回	松戸市関係課および地域福祉団体																										
8月	松戸市内自主防災組織との交流会	対象は未定																										
9月	栗防通信発行二回目	配布対象は栗中地域全世帯																										
10月	要配慮者支援会議第二回	松戸市関係課および地域福祉団体																										
11月	避難所開設運営訓練	地域住民を対象に栗ヶ沢中学校で開催																										
12月	避難所図上訓練	栗防委員を対象に貝の花小学校と栗ヶ沢小学校を仮定し実施																										
12月	自主防災に関する講演会	地域住民対象																										

	<table border="1"> <tr> <td>1月</td> <td>地域のための自主防災に関する小冊子の印刷と配布</td> <td>配布対象は栗中地域全世帯</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>要配慮者支援会議第三回</td> <td>松戸市関係課および地域福祉団体</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>栗防通信発行三回目</td> <td>配布対象は栗中地域全世帯</td> </tr> </table>	1月	地域のための自主防災に関する小冊子の印刷と配布	配布対象は栗中地域全世帯	2月	要配慮者支援会議第三回	松戸市関係課および地域福祉団体	3月	栗防通信発行三回目	配布対象は栗中地域全世帯
1月	地域のための自主防災に関する小冊子の印刷と配布	配布対象は栗中地域全世帯								
2月	要配慮者支援会議第三回	松戸市関係課および地域福祉団体								
3月	栗防通信発行三回目	配布対象は栗中地域全世帯								
協働の必要性	災害時における地域・地区レベルでの自主防災組織への期待が行政側(松戸市のみならず県および国レベル)で高まっている。危機管理課とともに市内の自主防災組織間交流を行うことにより、自主防災に関する情報の共有が可能となり、松戸市内各自主防災組織のさらなる発展を望むことができる。									
事業実施の役割分担	<p>① 団体</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自主防災に関する告知活動と講演会開催 - 町会避難行動を含む避難所開設運営訓練や図上訓練の実施 - 松戸市内の自主防災組織との交流 - 地域に根ざした自主防災に関する小冊子の作成と配布 <p>② 担当課</p> <ul style="list-style-type: none"> - 地域による要配慮者支援救護計画の策定 									
既存の事業からステップアップした部分	<p>要配慮者支援救護計画は、危機管理課主導のもと、平成 27 年度に骨子をまとめ、平成 28 年度により具体的な地域各団体の役割を決定する予定である。三年目となる平成 29 年度には、地域各団体との最終調整、および最終案の地域への提示を行う予定である。</p> <p>松戸市内自主防災組織との交流は、平成 28 年度に危機管理課主導のもと、すでに結成されている市内自主防災組織との交流を開始した。平成 29 年度は、市内自主防災組織自身によるネットワークづくりを行い、この交流が平成 29 年度以降にも続けられるようにする。</p> <p>地域に根ざした自主防災に関する小冊子は、栗防結成後、継続して話し合われてきた栗中地域における自主防災および避難所開設運営に関する総まとめとして位置付けている。この自主防災に関する地域に根ざした基礎的な情報を地域住民に共有していただき、いざという地域として災害に立ち向かえるようにする。</p>									
事業の目標	<p>① 栗ヶ沢中学校における開設運営訓練では、地域からの参加者を 200 人以上集める。</p> <p>② 要配慮者支援救護計画をまとめ、地域に提示できるようにする。</p> <p>③ 地域に根ざした自主防災に関する小冊子は、7000 部作成し、栗中地域全世帯に配布する。</p>									

今後の展望	協働事業は平成 29 年度で最後となるが、その後も自主防災に関する栗防の活動は継続していく。その中で、特に危機管理課とは密に連絡を取り合い、栗中地域のみならず、松戸市全体の自主防災に寄与できるようにしたい。
-------	---

(第6条関係)

事業の予算計画(収支予算書)

【労力換算(限度額算入)】

(単位:円)

区分	科目	金額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 660,000	別紙労力換算計算書参照

【収入】

区分	科目	金額	積算内訳
団体	栗防拠出金	¥ 150,000	参加町会からの会費
	自己資金の合計額 (B)	¥ 150,000	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	
合計額(D)=(B+C)		¥ 650,000	

【支出】

区分	科目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	外部講師謝礼(講演会2回分)
	印刷製本費	¥ 370,000	講演会のチラシ・ポスター(二回分、30,000)、避難所訓練のチラシ・ポスター・資料(30,000)、栗防通信(三回分、60,000)、自主防災に関する小冊子(250,000)
	消耗品費	¥ 120,000	避難所3カ所分(各:立て看板、受付用紙1000枚、名簿10冊、ガムテープ100巻、スズランテープ20巻、鉛筆200本、消しゴム100個、セロテープ100巻、大型模造紙20枚、ノート50冊、マジックペン20本、保険代、等)
	使用料	¥ 5,000	会場使用料(講演会)
	通信費	¥ 5,000	自主防災に関する小冊子配布
	対象経費の合計(E)	¥ 560,000	
(その他経費)	交通費	¥ 20,000	
	会議費	¥ 70,000	栗防委員会(4回)、訓練打合せ(4回)、推進事務局打合せ(20回)
	その他経費の合計額(F)	¥ 90,000	
合計額(G)=(E+F)		¥ 650,000	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位:円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×500円
	栗防委員会	200,000 円	50 人 × 2 h × 4 回 × 500 円
	推進事務局打合せ	160,000 円	8 人 × 2 h × 20 回 × 500 円
	自主防災訓練	300,000 円	40 人 × 3 h × 5 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
	合 計 (A)	660,000 円	